

健康経営に係る各指標の実績と目標

- ◆ 健康経営に関する各指標は、「戦略マップ」の健康投資効果における「取組状況に関する指標」「行動変容に関する指標」「最終的な目標指標」に関連する主な指標を表示しています。
- ◆ 「戦略マップ」の「最終的な目標指数」については、太文字で表示しています。

健康に係る各指標			2023年度 (旧愛知)	2023年度 (旧中京)	2024年度	2025年度	目 標 (2030年度末)
健康の維持・増進							
定期健康診断受診率			100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100%
精密検査受診率			78.3%	82.8%	79.4%	84.1%	90%以上
保健指導実施率（新設）			—	—	—	—	80%以上
人間ドック受診率			55.0%	85.1%	58.7%	78.9%	80%以上
特定保健指導の実施率			60.6%	75.0%	80.8%	82.5%	85%以上
要観察者（ハイリスク者）への事後措置率			100.0%	—	100.0%	100.0%	100%
要観察者（ハイリスク者）の医療機関受診率			95.6%	—	92.3%	92.9%	95%以上
働きやすい職場環境の整備							
ストレスチェック受検率			94.6%	99.7%	99.4%	98.9%	95%以上
高リスク群職場の割合			17.1%	10.5%	10.6%	13.6%	5%未満
喫煙者の割合			13.8%	14.7%	14.5%	13.5%	12.5%未満
喫煙者のうち、禁煙を目指す従業員の割合			35.8%	38.8%	33.0%	31.0%	—
労働安全衛生に関する指標							
度数率（災害による死傷者数の頻度）			0.83	—	0.88%	1.15%	0.62以下
強度率（災害の重さの程度）			0.01	—	0.02%	0.02%	0.03以下
年千人率（労働者1,000人当たりの年間死傷者数割合）			—	—	—	1.86%	2.3%以下
適正な労働時間の管理							
一人あたりの時間外労働（時間/年）			121.6時間	137.5時間	128.8時間	124.7時間	120時間以内
長時間労働者数（年間の延べ人数）			9人	45人	15人	21人	0人
有給休暇取得率			75.5%	83.9%	73.4%	87.9%	82%以上
生活習慣の改善							
スコアリングレポート							
生活習慣病リスク保有者の割合							
肥満リスク			115%	112%	120%	123%	100%以上 全健保組合平均に 対する達成率
血圧リスク			95%	88%	82%	88%	
肝機能リスク			129%	135%	130%	121%	
脂質リスク			85%	97%	98%	106%	
血糖リスク			95%	95%	98%	103%	
適正な生活習慣を有する者の割合							
喫煙習慣リスク			114%	112%	113%	113%	100%以上 全健保組合平均に 対する達成率
運動習慣リスク			34%	34%	34%	32%	
食事習慣リスク			118%	113%	118%	112%	
飲酒習慣リスク			102%	101%	101%	106%	
睡眠習慣リスク			70%	67%	68%	69%	
定期健康診断の結果							
適正体重者率			64.8%	—	64.6%	65.2%	70%以上
有所見者率	40歳以上	—	—	97.4%	97.5%	80%未満	
	全体	95.2%	—	94.5%	94.9%	75%未満	
睡眠時間（平日）	4.5時間以上	—	—	96.5%	96.5%	90%以上	
	6.0時間以上	50.2%	50.2%	55.5%	54.2%	70%以上	
1日平均の歩数8,000歩以上の者の割合			26.1%	15.3%	21.4%	24.2%	50%以上
健康リテラシーの向上等							
健康に関するアンケート							
生活習慣を改善したいと考える者の割合			84.8%	81.1%	83.3%	82.3%	90%以上
健康増進を意識している者の割合			83.0%	80.5%	81.9%	81.2%	90%以上
ESアンケート（2021年度から実施）							
設問「今後も働き続けたい」に対する行員の満足度			75.7	69.1	74.4	74.7	80以上
付加価値生産性（百万円）			17.6	—	14.6	17.3	—
就職企業人気ランキング（東海地区）			11位	—	9位	8位	—
平均勤続年数			18年6ヶ月	—	17年6ヶ月	17年1ヶ月	—
プレゼンティーイズムによる損失額（1人あたり）			—	—	181千円	132千円	181千円以下
アブセンティーイズムによる損失額（1人あたり）			—	—	42千円	41千円	42千円以下

取組の背景・集計方法等の補足説明 ①

健康の維持・増進		
定期健康診断受診率		・法令対応として、全従業員が健康診断を受診しています。
人間ドック受診率		<取組の背景> ・定期健康診断では実施できない検査項目の受診機会として、春に実施する定期健康診断とは別に、秋の人間ドック受診を推奨しています。 ・人間ドックを受診しやすくするため、受診費用の一部補助を実施しています。 [補助の内容] 健康保険組合の被保険者と被扶養者のうち25歳以上を対象に、5,000円を超える受診費用を補助しています。 <集計方法> ・被保険者のうち40歳以上の被保険者と被扶養者である配偶者の受診率を表示しています。 ・巡回レディース健診による受診者数も含めて集計しています。
要観察者（ハイリスク者）への事後措置率		<取組の背景> ・有所見者でも緊急度は個人差が大きく、緊急度に応じた事後措置が必要であると判断し、有所見者を緊急度に応じて5段階にランク分けし、上位2段階を要観察者（ハイリスク者）と定義付けて事後措置の完全実施を目指しています。 <集計方法> ・要観察者（ハイリスク者）に対して実施した事後措置の割合を表示しています。 ※2024年度までは旧愛知銀行の実績
要観察者（ハイリスク者）の医療機関受診率		<集計方法> ・要観察者（ハイリスク者）が医療機関を受診した割合を表示しています。 ※2024年度までは旧愛知銀行の実績
働きやすい職場環境の整備		
ストレスチェック受検率		<集計方法> ・受検率を算出する際の分母には、グループ関連企業の従業員も含めています。
高リスク群職場の割合		<集計方法> ・割合を算出する際の分母には、10名未満で職場分析していない職場を含めています。
喫煙者の割合		<集計方法> ・割合を算出する際の分母には、グループ関連企業の従業員も含めています。
喫煙者のうち、禁煙を目指す従業員の割合		<取組の背景> ・喫煙率の低下には、喫煙者の禁煙を目指す意欲の高まりが重要と考え、喫煙者への啓発活動や禁煙外来の受診費用等の一部補助を実施しています。それら施策の実効性を検証するための指標として採用しています。 <集計方法> ・全従業員を対象に毎年実施している「健康に関するアンケート」において、「たばこを吸う」と回答した従業員のうち、「今後、禁煙をしたいと考えている」と回答した従業員の割合を表示しています。
度数率		<取組の背景> ・労働安全衛生に関する取り組みの実効性を検証するための指標のひとつとして、労働災害による死傷者数の割合を採用しています。 ・令和4年労働災害動向調査の概況における平均値0.62（1,000人以上の事業所）を下回ることを目指しています。 <集計方法> ・（労働災害による死傷者数度数率/延べ実労働時間数）× 1,000,000
強度率		<取組の背景> ・労働安全衛生に関する取り組みの実効性を検証するための指標のひとつとして、災害の重さの程度を採用しています。 ・令和4年労働災害動向調査の概況における平均値0.03（1,000人以上の事業所）を下回ることを目指しています。 <集計方法> ・（延べ労働損失日数/延べ実労働時間数）× 1,000
年千人率		<取組の背景> ・労働安全衛生に関する取り組みの実効性を検証するための指標のひとつとして、労働者1,000人当たりで発生した年間死傷者数の割合を採用しています。 ・令和4年労働者死傷病報告及び総務省労働力調査における平均値2.3（全産業）を下回ることを目指しています。 <集計方法> ・（1年間の死傷者数 ÷ 1年間の平均労働者数）× 1,000
適正な労働時間の管理		
一人当たりの時間外労働		<集計方法> ・従業員（管理職除く）の月間45時間を超える時間外労働の時間を集計しています。
長時間労働者数		<集計方法> ・管理職のうち、月間の時間外労働が100時間を超えている者の数を延べ人数として集計しています。
有給休暇取得率		<集計方法> ・制度休暇のうち、特別休暇は除いて集計しています。

取組の背景・集計方法等の補足説明 ②

生活習慣の改善

スコアリングレポート		<取組の背景> ・全国の同じ業態の企業との比較ができるため、健康保険組合から提供される健康スコアリングレポートを健康経営の進捗度を把握するための指標として採用しています。 <集計方法> ・全組合平均を100とした場合の当行健保組合の指数を表示しています。 ・2024年度の実績は、2023年度のデータに基づいて作成された2024年度版スコアリングレポートの数値を表示しています。
有所見者率		<集計方法> ・検査結果（法定項目以外の検査項目も含む、視力除く）の総合判定がB～Eであった従業員の割合を表示しています。 ・2023年度から血液検査の対象年齢を45歳以上から全年齢に変更しています。
睡眠時間（平日）6時間以上の者の割合		<取組の背景> ・スコアリングレポートで、達成状況が思わしくない「睡眠習慣リスク」の状況を確認するため、従業員の睡眠時間をモニタリングしています。 <集計方法> ・「健康に関するアンケート」の集計結果を表示しています。
一日平均の歩数8,000歩以上の者の割合		<取組の背景> ・スコアリングレポートで、達成状況が思わしくない「運動習慣リスク」の状況を確認するため、従業員の運動習慣をモニタリングしています。 <集計方法> ・「健康に関するアンケート」の集計結果を表示しています。 ・割合を算出する際の分母には、「歩数を把握していない」と回答した人を除いています。

健康リテラシーの向上等

生活習慣を改善したいと考えている者の割合		<集計方法> ・「健康に関するアンケート」の集計結果です。 ・既に改善に取り組んでいると回答した従業員も含めて集計しています。
E S アンケート		<取組の背景> ・戦略マップにおける「経営課題の解決につながる健康課題」である「従業員の働きがいと意欲の向上」を測定するための指標として、毎年実施している「ESアンケート」を採用しています。 <集計方法> ・自社独自で策定した「ESアンケート」の集計結果のうち「今後も働き続けたい」の設問に対する従業員の満足度を表示しています。 参考：設問数50問、回答数 2,799名
就職企業人気ランキング		<取組の背景> ・健康経営を取り組むことが、採用活動を行う学生の企業イメージにどのような影響があるかを測定するための指標として、マイナビと日経新聞社が共同で実施する「就職企業人気ランキング（地域別）」を採用しています。 <集計方法> ・「就職企業人気ランキング（地域別）」の結果を表示しています。 ※ランキングに記載されている法人名はあいちフィナンシャルグループとなっています。
平均勤続年数		<集計方法> ・2021年度までは定時株主総会招集通知に記載の数値を表示しています。
付加価値生産性		<集計方法> ・連結業務粗利益÷連結人員数（パートタイマー・派遣社員も含む、年度末人員）で算出した金額を計上しています。 ※2022年10月に金融持ち株会社に移行しており、2022年度から収益構造が変更になっております。
プレゼンティーイズムによる損失額（1人あたり）		<集計方法> 従業員の疾病就業によるパフォーマンスの低下を全従業員対象の「健康に関するアンケート（仕事に影響を及ぼす健康問題の有無、有症日数、仕事の量・質の低下等）」で確認し、実際に支給された給与から算出した損失額（年間）です。（QQmethodによる測定）
アブセンティーイズムによる損失額（1人あたり）		<集計方法> 従業員の病欠による就労機会の減少を全従業員対象の「健康に関するアンケート（健康問題を理由とした休暇の日数等）」で確認し、実際に支給された給与から算出した損失額（年間）です。